英語 5　話を聞き、要点を捉える

<問題文>
あなたは、「住みやすいまちづくり」についての意見交流会で、友達のたけるの話を聞くところです。話を聞いて、<u>たけるが最も伝えたいこと</u>を、<解答欄>の1から4までの中から1つ選びなさい。

▶ ← 再生ボタンを押してください

【たけるのスピーチ】

<解答欄>

○ 1　Many people from different countries are living in our city.

○ 2　We need to help people from abroad with many different languages.

○ 3　Our city improved the website for people from abroad.

○ 4　People from abroad can get useful information from the website.

英語の音声スクリプト

Many people from different countries are living in our city. Some of them don't understand Japanese. So, there are some language problems. I think we need to help people from abroad with many different languages. Five years ago, our city made its website in Japanese and English. However, people from abroad wanted it in other languages too. Then, our city improved it. They can get useful information from the website now. It is important to help them with many different languages.

英語の音声スクリプトの解説

"Many people from different countries are living in our city." は、たけるが住むまちの現状を示している。"I think we need to help people from abroad with many different languages." は、たけるが最も伝えたいことを示している。 "our city made its website in Japanese and English" と "Then, our city improved it." は改善するための取組を、 "They can get useful information from the website now." は取組の成果を示している。最後に "It is important to help them with many different languages." とたけるが最も伝えたいことを、表現を変えて繰り返し、全体として問題とその解決という構成にしている。

出題の趣旨

社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる。

「要点を捉える」とは、話し手が伝えようとする最も重要なことは何であるかを判断して捉えることである。そのためには、ある程度の情報が入ったまとまりのある説明などを聞き、より重要な情報は何かを判断する必要がある。

英語5は、社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかを把握するために、住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する問題とした。

■学習指導要領における目標

聞くこと

ウ　はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

聞くこと

(ｴ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を聞き取る活動。また、その内容を英語で説明する活動。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率(%)	正答
5		1	1　と解答しているもの	16.0	
		2	2　と解答しているもの	56.0	◎
		3	3　と解答しているもの	11.8	
		4	4　と解答しているもの	15.9	
		0	無解答	0.2	

（N= 861,464 人）

２．分析結果と課題

○　正答率は 56.0%である。住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する本問では、社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることに課題がある。解答類型１の反応率が 16.0%、解答類型３の反応率が 11.8%、解答類型４の反応率が 15.9%と、どの解答類型も 10%以上の生徒が選択している。

○　解答類型１、３、４に該当する生徒は、それぞれ、まちの現状、改善するための取組、取組の成果を、たけるが最も伝えたいことであると誤って捉えており、文章の構成を理解することができていないと考えられる。また、本問のようなまとまりのある内容の英語の音声を聞くことに慣れておらず、聞き取ることができた情報をそのまま話し手が最も伝えたいことであると判断した生徒も含まれていると考えられる。

○　令和５年度【中学校】英語4では、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみるために、水問題についての話を聞き、話し手が最も伝えたい内容を選択する問題を出題し、正答率は 55.3%であった。今回の結果から、社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることに引き続き課題があると考えられる。

３．学習指導に当たって

（１）要点を捉えるための手がかりとなる語句や表現に着目して聞き、文章の構成を理解する

話を聞いて、要点を捉えることができるようにするためには、話題を把握した上で、意見とその理由、問題提起とその解決策の提案など、文章の構成を意識して英語の音声を聞くように指導することが大切である。

例えば、英語５においては、文章の構成が、たけるが住むまちの現状、たけるが最も伝えたいこと、改善するための取組、取組の成果、となっていることを理解することが大切である。文章の構成を理解するためには、 “I think …” “We need to …” といった表現から、話し手が最も伝えたいことであると判断したり、文と文の関係が、改善するための取組とその取組の成果といった関係になっていることを判断したりすることが大切である。さらに、音声スクリプトを読んで文章を確認した後､要点を捉えるための手がかりとなる語句や表現に着目して､再度、英語の音声を聞かせることも考えられる。単元を通して、徐々に生徒が自分の力で音声を聞いて要点を捉えることにつなげていくことが重要である。

（２）話し手が最も伝えたいことだと判断した根拠を話し合う

英語を聞いた後で､聞き取った複数の情報を比較したり､文と文との関係を検討したりして、話し手が最も伝えたいことを捉えることが大切である。話し手が最も伝えたいことは何か、なぜそう考えるのかをペアやグループで話し合う際に、考えや意図を伝える表現や、例示をするための表現などに着目させることで、文章の構成を理解させることが大切である。

（３）言語活動の例

- 自分のまちを活性化させるための中学生の取組についての話を聞き、その中の重要な情報を聞き取る活動
- 学校で実践できる環境を守る取組についての話を聞き、話し手が最も伝えたいことを捉える活動

なお、英語５は「聞くこと」と「読むこと」の違いはあるが、英語10（１）と同じように「社会的な話題について、要点を捉えること」ができるかどうかをみる問題である。そのため、「社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉えること」ができるようにする指導も併せて行うことが考えられる。